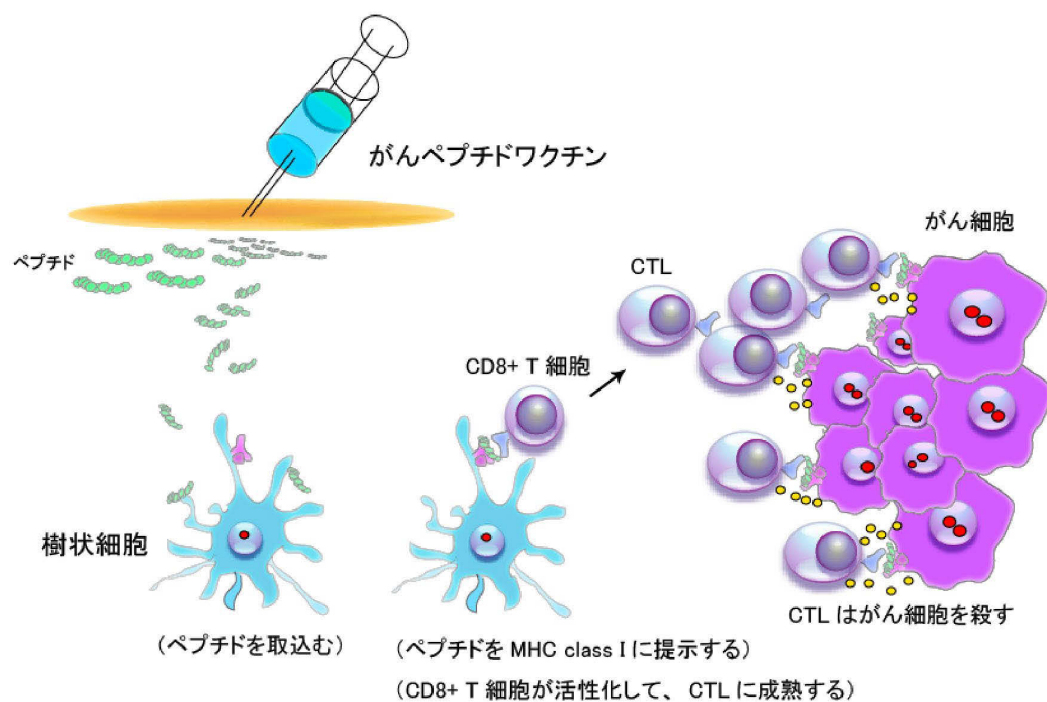


元気な頃の君に もう一度会いたい!



本研究で用いるがんペプチドワクチンは、様々ながんに発現するsurvivinを標的にキラーT細胞(CTL)を誘導する方法です。犬の白血球型に適合できるペプチドをデザインして、予め準備しております。

最終的にがんを排除するためには、いくつかの段階をクリアする必要があります。まず、①がん細胞に標的抗原の1つであるsurvivinが発現しているか、②がん抗原(survivinペプチド)を樹状細胞に効率良く取込ませるための手段(アジュバントの選択)は最善か、③CTLが誘導できても、がん組織内で疲弊化(がん細胞にPD-L1が発現してCTL活性が抑えられている状態)になっていないか、④繰返しワクチン接種することでCTLが不応答(トレランス)に陥っていないか、などがあり、これらを回避する手段を治療プログラムに構築する必要があります。現在有する技術を駆使して、大学附属動物医療センターにて犬の臨床研究を実施しています。